

## 済生会宇都宮病院 星 宏枝です

済生会宇都宮病院は、地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩から

正常分娩まで年間約 1000 件の分娩があります。院内には、42 名の助産師がおり、そのうち 22 名がアドバンス助産師です。毎年、数名がアドバンス助産師の資格を新規・更新しています。



### ●アドバンス助産師について

アドバンス助産師は産科病棟やパースセンターだけでなく、NICU や救急外来でも、母子にとって最良の看護を提供し、頑張っています。

アドバンス助産師の活躍の場は、医師と共同して行う助産師外来や 2 週間・1 ヶ月健診、母乳外来、パースセンターなど多岐にわたります。妊婦自身が自分の身体をよく知り、自ら備えている「産む力・赤ちゃんの産まれる力」をはぐくめるよう妊娠中から分娩、産後のケアを

助産師としてサポートしています。アドバンス助産師の資格をとることで、自分の技術や知識の再確認ができ、活躍の場が広がり、助産師としてのモチベーションもあがります。

### ♡つぶやき♡

現在、新型コロナウイルス感染症拡大という社会状況の中で妊・産・褥婦が孤立しないよう、助産師として技術や知識を活用して母子を支援しています。さらに、今後、乳腺炎予防加算を取得する予定です。

これから、助産師がやりがいを持ち、さらに質の高い看護が提供できるよう、アドバンス助産師として後輩の育成にも努力していきたいと思います。



つながる、つながる、仲間たち。つながれ、つながれ、助産師たち。  
次回は 助産師 生田目ルミさんです。